

商業研究部が研究発表！！

もっと深く、もっと見る。

- 高齢者支援
- 障がい者支援
- 医療・福祉
- 社会貢献

もし高校生がドラッカーの『イノベーションと企業家精神』を読んだら。

飛騨高山高等学校
商業研究部

私 たちは気づいてしまっ
た。8月2日、第29回
岐阜県高等学校生徒商業研究発表
大会に出場した。飛騨高山高
等学校商業研究部の発表は、そ
んな出だしから始まり、こう続
く。「イノベーションは誰にでも起
こせるということだ。そして、長年
の悩や閃きによるアイデアから
は、イノベーションが起きにくいと
いうことだ。」

とめた彼が指摘するのは技術革
新ではなく、一歩である我々知
識を組み合わせ、新しい価値を
生み出すということ。実はこのイ
ノベーションは、身近なところで
は（エニタロ）で知られるヘッパ
ストリノイリング社をはじめ、
世界中の企業マネジメントに活
用されている。

イノベーションの1つの機会のう
ち、成功率の最も高いものと低い
ものについて並び、この原理を活
かして新しい価値を見つけ、高山
をより魅力初で活気あふれる町
にできないか？と考えた彼ら
は、その検証をするべく地元商店
街に足を運んだ。ある和菓子屋
さんでのリサーチでは、「故人が
大得意だったカエルの像頭を作っ
て欲しい」という顧客の要望がた
えたことから、のちに看板商品と
なる会談シリーズの展開に至った
話を聞きました。これこそ「予期
せぬ成功と失敗」を利用したイノ
ベーションの成功例と書きます。



1.岐阜県の高等学校11校59名が参加、4年ぶりの開催となった。
2.出席者8人と片断子ら(後列右)、(飛騨高山ドラッカー読書会)
の大人たち。